

平成27年度第1回教育研究評議会議事要旨

日時 平成27年4月15日（水）15時38分～16時00分

場所 第1会議室

出席者 23名

和田学長，大矢理事（総務・財務担当副学長），鈴木理事（教育担当副学長），
近藤副学長，杉山評議員（保健管理センター所長），
尾形評議員（言語センター長），李評議員（ビジネス創造センター長），
行方評議員（情報処理センター長），穴沢評議員（国政交流センター長），
中島評議員（経済学科長），高田評議員（商学科長），
河森評議員（企業法学科長），加地評議員（社会情報学科長），
荻野評議員（一般教育系学科主任），金評議員（現代商学専攻長），
籾本評議員（アントレプレナーシップ専攻長），船津評議員（経済学科教授），
伊藤評議員（商学科教授），石黒評議員（企業法学科教授），
佐山評議員（社会情報学科教授），八木評議員（一般教育系教授），
羽村評議員（一般教育系教授），瀬戸評議員（アントレプレナーシップ専攻教授）

公欠者 0名

欠席者 0名

議事に先立ち，事前に配付している前回（3月20日）開催の平成26年度第15回教育研究評議会の議事要旨の確認が行われた。

議 題

1. 経営協議会委員の任命について

和田学長から，審議資料1に基づき，経営協議会委員の任命について諮られ，審議の結果，原案どおり承認された。

承認後，和田学長から，4月27日開催の役員会に附議する旨発言があった。

2. 国立大学法人小樽商科大学学長選考会議委員の選出について

和田学長から，本学の学長選考会議委員のうち，金 鎔基 教授の任期が，平成27年3月31日をもって満了したため，国立大学法人小樽商科大学学長選考会議委員の選出について審議願いたい旨提案があった。

また，任期については，教育研究評議会評議員の任期と同一となる旨発言があった。

その後，和田学長から，選出方法については，従前どおり投票によることとし，以下の方法で行いたい旨提案があり，了承された。

○学長選考会議委員の選出方法

1. 単記無記名投票により、得票上位1名を学長選考会議委員として選出する。
2. 得票が同数の場合は、得票同数の者についての再投票を行う。
3. 再投票を行った結果、再度、得票が同数になった場合は、年長者を委員として選出する。
4. 開票の立会いについては、尾形言語センター長に依頼する。

引き続き、投票が行われ、開票の結果、金 鎔基 教授が学長選考会議委員として選出された。

その後、金 鎔基 教授に就任の受諾が確認された。

3. 名誉教授の称号授与について

花輪前称号授与審査委員会委員長から、審議資料3（回収）に基づき、名誉教授の称号授与について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

4. 特認教授の称号付与について

花輪前称号授与審査委員会委員長から、審議資料4に基づき、特認教授の称号付与について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

報 告 事 項

1. 小樽商科大学教員の研修実施に関する申合せについて

和田学長から、報告資料1に基づき、小樽商科大学教員の研修実施に関する申合せの制定について報告があった。

次回の会議日程

次回の教育研究評議会は、5月13日（水）現代商学専攻教授会終了後に開催する予定である。

以 上